

けやき

1

新宿社協だより
[KEYAKI]

だれもが安心して暮らせる「新宿型福祉コミュニティ」の実現をめざして

長きにわたり

ご協力いただきありがとうございます

あゆみの家利用者さんの
プール活動補助をする岡野さん(左)
(施設・団体ボランティアコーディネート事業)

デイサービスで利用者さんの
移動支援をする畠山さん(右)
(施設・団体ボランティアコーディネート事業)

「ぬくもりだより」をお届けしながら、
長谷川さん(右)に声をかける吉江さん(左)
(地域見守り協力員事業)

福祉公社開設時から20年以上障害者の
お宅で活動する日比野さん(左)
(ちょこっと・暮らしのサポート事業)

橋本さん(左)とお話ししながら
掃除機がけする平尾さん(右)
(ちょこっと・暮らしのサポート事業)

今年も一年 ボランティア活動が 健康の秘訣です

山登りのルートがいくつもあるように、社会福祉協議会の使命である住民主体の地域福祉の推進は、様々な取り組み手法があります。私たちは、常に課題に向き合う姿勢を忘れず、研鑽を重ねながら、地域の皆様が互いに助けあい、住みやすいまちを目指していき、新宿型福祉コミュニティの実現をめざして今年も職員一同精進してまいります。引き続き、多くの皆様のご支援をこころよりお願い申し上げます。上げるとともに、明るく希望に満ちた年になりますようご祈念申し上げます。新たな年のご挨拶とさせていただきます。

平成三十年 元旦

さて、今年は2月に平昌で冬季オリンピック・パラリンピックが開催されます。そして2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催まで1000日をきりました。当会は、従前からスポーツ競技用車椅子や高齢者疑似体験セットの整備、企業のCSR活動と連携した授業提案を行う等の福祉教育に取り組んでおりましたが、昨年4月からは教育委員会との連携を深め、多くの区立小中学校での福祉教育授業を支援しました。子どもたちの未来を作るお手伝いができることは、私たちの大きな喜びです。

新宿区社会福祉協議会としても、災害時におけるこの災害ボランティアセンター運営を大きな役割のひとつと位置づけており、昨年9月には、新宿区の「防災フェスタ」実施に合わせ、初めて災害ボランティアセンター設置・運営の訓練を行い、今後取り組むべき課題も把握できました。

あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、熊本県での大雨による水害を始めとして台風や集中豪雨による大きな被害が各地でありました。被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。被災された被災者の生活再建では、ボランティアが大きな役割を果たします。その際に、多くのボランティアによる支援活動とともに、地元の社会福祉協議会の設置するボランティアセンターの活動の様子も報道されることがあります。



社会福祉法人
新宿区社会福祉協議会
会長 北中 誠

新年のごあいさつ

新宿社協 ボランティア(活動会員)新春座談会

今回は、新宿社協とともに、長くボランティア活動が続けていらっしゃる活動会員の皆さんにお集まりいただき、お話を聞かせていただきました。どの方も、20年以上のお付き合いです。

皆さんからは、活動のきっかけや、長く活動続ける秘訣、新宿社協との思い出などいろいろお話を聞きました。

【座談会の参加者(50音順)】 ●岡野 元昭さん ●畠山 仁子さん ●平尾 輝子さん ●吉江 淑子さん

なお、文中にある「財団法人新宿区福祉公社」は、平成11年に「社会福祉法人新宿区社会福祉協議会」に統合されました。



平尾 輝子さん

まず、ボランティア活動を始めたきっかけをお話してください。

平尾 横寺町の平尾です。

両親や家族もいつか高齢になり、介護が必要になると思い、自分も元気でいられるように、新宿区福祉公社(現・新宿区社会福祉協議会)のホームヘルパー講座で資格をとったことがきっかけです。

岡野 中落合の岡野です。

就職して数年後、職場の仲間に誘われて、施設に出かけたことがボランティアのきっかけです。ボランティアなんて自分にできるか心配だったけど、行ってみたら施設のお手伝いで、難しくないと、続けました。

畠山 戸山在住の畠山です。

もともと小学校のPTA役員をしたことがきっかけで、新宿区家庭教育グループ連絡会で子どもの教育や子育てについて学んでいました。新宿区福祉公社の設立時に、協力会員として支援に参加することを誘われ、登録し、今に至っています。

吉江 北新宿の吉江です。

子育ても落ち着き、長年関わってきた「婦人友」の活動を通じて、主人の転勤があっても家族と共に地域になじめるように選んだのが、新宿区福祉公社の協力会員の登録でした。



畠山 仁子さん

ボランティア活動の中で、心に残った出来事は？

岡野 九州に住む障害者の方達と、ディズニーランドへ付添う活動を10年位しました。また、筋ジストロフィーの方が全国から集まる会をお手伝いしたことがきっかけで、仙台から上京するたびに付添いを頼まれ、普段は人が通らない郵便物運搬用の通路を東京駅の配慮で車椅子介助をして通ったことが思い出です。

畠山 東京都失業者更生館(現・東京都視覚障害者生活支援センター)での活動で、高尾山や福島まで視覚障害の方にボランティアとして付添い、相手の方が喜んでくれてうれしかったです。

平尾 私は、いつも「ボランティアの気持ち」で活動しているのですが、ある時活動先で、娘さんとお母さん(利用者)に「お手伝いに来てもらっているんだから、時間いっぱい頼みなさい」と話しているのを聞いてしまい、すごく悲しかったです。ご本人が気持ちよく過ごすことを優先して活動し、娘さんが言ったことは気にしないことにしました。

吉江 家事援助や通院付添いの支援をしていた利用者さんが、認知症になった時「遠くの親戚より近くの他人(見守りさん)」の必要性を実感したことです。

長く活動続ける秘訣や心がけていることは？

吉江 家事援助活動中は、掃除や洗濯、食事について学びながら支援しました。自分にもプラスになるような関わり方を心がけることが、元気で長生きできる福祉への関わり方だと思っています。また、高齢者への配食活動では、定年になった夫にもボランティア登録してもらい、自分ができない時に夫が配食するなど協力してもらいました。

畠山 自分が健康でいることと、私は世話好きなのだと思います。また、活動先では利用者さんから話を聞かせてもらい、人生の先輩から多くのことを学びました。

岡野 私は「約束を守ること」を心がけています。約束をしたのに、風邪な

どひいて、相手の方にご迷惑をかけてしまわないようにと、健康に気をつけています。

平尾 私もずっと健康に気をつけています。私は、結婚してからずっと、家族の世話をしています。社協で介護の勉強をしたことが、家族のためにもなりました。

岡野 ここにいる4人とも「お節介」ですよ。

吉江 お節介じゃなきゃいろいろできないですよ。

岡野 最近はお節介な人が地域にいませんね。

平尾 だからお節介だと地域で目立ち、「あの人に聞けばいいよ」と言われます。

岡野 朝、家の前を掃除していて、ご近所の方に挨拶しても返事がないですよ。

畠山 集合住宅のエレベーターで、自分が後から乗る時に挨拶しても、皆さん何も言わないですよ。でも、私は誰にでも声をかけてしまうのです。

今日の座談会で男性の出席者は岡野さんだけです。岡野さんくらの年代の方で、古くから地域のボランティア活動に携わっていた男性の方は少ないと思います。女性の多い活動先やボランティアの集まりに参加するのに抵抗はなかったですか？

岡野 抵抗はなかったです。最初に活動に誘ってくれたのも女性の先輩社員でした。でも、退職してから活動の時間が増えました。男性はなかなか一歩踏み出せないですよ。まずは参加してみないとダメだと思います。

吉江 夫も退職してから自分の経験を伝えて生かせるボランティア活動(パソコンサポーター)を見つけ、生涯活躍人となって地域へ楽しんで出かける日々でした。

岡野 男性は自分で探して活動に入ることは難しいと思います。私も誘われて始めたので、誘ってしないとダメですね。家に閉じこもって酒を飲むより、活動の約束をして外に出れば、健康に良いですよ。



吉江 淑子さん

では、最後に「新宿社協」へ一言お願いします。

平尾 スケジュール帳の中にいつも当たり前のようにボランティア活動が入っています。社協で活動することで地域の中でも頼りにされていて、いろいろな関わりがあります。社協に登録してよかった、と思っています。近頃は、介護者の支援に力を注いでいます。みんな大変な思いで介護しています。このような活動も含め、社協は私の基礎です。

畠山 私にとって新宿社協は、「困りごと相談所」です。近所の方にも何か聞かれると、「社協に相談したら」と、つい言ってしまいます。福祉のことについては、本当に頼りにしています。

吉江 これからも、近くの他人でも気軽に見守れる関係を心がけて、家族に代わる支えあい、助け合いの人間関係の中で、高齢者同士が助け合って暮らすことをライフワークとして続けていきます。

岡野 今、自分ができること(ボランティア活動)をやっていると、いざ自分に手助けが必要になった時に、(手助けを)受け入れられると思ってます。

皆さん、これからも健康で、新宿社協と一緒に、ずっと活動続けてください。いろいろとお話を聞かせていただき、ありがとうございました。



岡野 元昭さん

心のこもったご寄附

ありがとうございました！

寄附物品【敬称略】

寄附者芳名(平成29年11月末日までの受付分)

月区分	寄附者名	住所	寄附物品
6月	新宿5ロータリークラブ	新宿区西新宿	車椅子5台
10月	株式会社 北陸銀行新宿支店	新宿区西新宿	ペーパークリーナー多数

他にもおむつ類やタオル・お米などをご寄附いただき、地域の方々に活用していただいております。その他、未使用の物品などがありましたら、新宿社協高田馬場事務所までご相談ください。

寄附金【敬称略】

(単位:円)

月区分	寄附者名	住所	寄附金額
10月	山口 シゲ	新宿区高田馬場	35,000
	薬王寺商工会	新宿区市谷薬王寺町	41,600
	黒滝 弘	新宿区西早稲田	2,000
	ぱーぶる・シャイン	新宿区戸山	500
	キルト戸山会	新宿区戸山	1,060
	東京防犯健全協力会	豊島区南大塚	200,000
	小倉 利夫	新宿区袋町	100,000
	諏訪中クラブ 会長 藤崎 正之	新宿区高田馬場	8,314

(単位:円)

月区分	寄附者名	住所	寄附金額
10月	四谷地区民生委員・児童委員協議会	新宿区	30,000
	新宿西清掃協力会	新宿区	94,561
11月	四谷清掃協力会	新宿区	125,687
	社会福祉法人サン	新宿区高田馬場	2,000
	匿名(14件)		191,859
合 計			832,581

新宿区社会福祉協議会

〒169-0075 新宿区高田馬場1-17-20

TEL:03-5273-2941 (代表) FAX:03-5273-3082

Eメール: houjin@shinjuku-shakyo.jp ホームページ http://www.shinjuku-shakyo.jp

2018 新年の業務は、平成30年(2018)1月4日(木)より開始いたします。

★新宿社協では視覚障害のある方のために、本誌の『CD』をお貸ししています。ボランティア団体「ぐるーぶ・カナリヤ」さんのご好意によるものです。どうぞご利用ください。